

平成29年 7月 3日

国土交通省 九州地方整備局

筑後川ダム統合管理事務所

松原ダム弾力的管理試験の実施結果(速報)

～ 筑後川の流況改善に役立ちました～

6月11日から6月20日にかけて、松原ダム弾力的管理試験を実施しました。今年、5月から例年になく少雨傾向にあったことから、農業用水の取水が増加する代掻き～田植え期に河川の流量が著しく減少すると予想されたため、6月15日から6月20日に集中して松原ダムから放流を行いました。

(累加雨量) 5月: 106 mm (平年比 52%)、6月: 194 mm (平年比 48%)

【実施結果】

- 松原ダムに貯留していた活用容量約 600 万 m^3 を6月15日から6月20日の間、毎秒約9～14 m^3 放流しました。
- 放流により筑後川の流況を改善することができ、特に6月17日以降は筑後川の流況改善に寄与できたと思われます。(別紙-1、2参照)
- もし、今回の放流が無ければ、代掻き～田植えが大幅に遅れるなど、さらに厳しい状況が生じたことも考えられます。

※1 弾力的管理試験とは、梅雨期等に洪水を調節するための容量の一部に水を貯留し、その水を使って、ダム下流域の河川環境の保全に役立てるものです。松原ダムでは、平成13年より試験を行っています。

(平成29年6月6日付け記者発表資料「松原ダム弾力的管理試験開始」をご参照下さい。)

問い合わせ先

■国土交通省 九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所

TEL 0942-39-6651 (代表)

技術副所長

志賀 三智

広域水管理課長

菊永 和久



大石堰上流:6月15日時点(放流前)



大石堰上流:6月18日時点(約14m³/s放流中)

平成29年度松原ダム弾力的管理試験(6月11日～6月20日)効果試算図(600万m³) 速報値

